

# 第68回 『あいおの会』

## - 失語症友の会 -

### 1、「失語症友の会」とは

失語症とは、脳卒中や事故などの後遺症によって、言葉を操る能力に障害が残った状態をいい、聞く・話す・読む・書くことすべてに影響を及ぼします。このような失語症の方に対して、言語聴覚士が中心となり、個別の訓練・支援をおこなっております。

失語症の多くの方は、日常の何気ない会話が不自由になり、仕事や趣味活動など、社会活動への参加が難しくなります。そこで、熱海・伊東地区では、失語症の方々のコミュニケーションの機会を作り、交流を深めるという目的で、平成18年7月より「失語症友の会」を開催しております。会には国際医療福祉大学熱海病院と熱海所記念病院の言語聴覚士や患者様のご家族も参加しております。

### 2、第68回「あいおの会」

令和2年2月16日(日)国際医療福祉大学熱海病院にて、第68回失語症友の会が開かれました。今回は、失語症患者様9名とご家族様、言語聴覚士が集まり賑やかな会となりました。

今回は見学の方が多く、自己紹介と近況報告では会員様と見学の方との積極的な意見交換の場となりました。レクリエーションでは3ヒントクイズとシルエットクイズを行いました。両ゲームともに会員様とスタッフが楽しみながら行えました。特に3ヒントクイズは、会員様同士のお話合いの時間が多く、笑顔も多くみられました。



**※5月に予定しておりました友の会は中止となりました**

感染予防の観点より、しばらくの間、失語症友の会はお休みさせていただきます。再開時期につきましては、現在未定です。開催日程が決定しましたら、お知らせ致します。